

マスクや防護服など  
県内医療機関に贈る

### 民間事業団体

新型コロナウイルスの感  
染拡大で不足していたマス  
クなどを中国から福岡へ緊  
急輸入した民間事業「コロ  
ナウイルス対策支援物資緊  
急輸出入プロジェクト」(事  
務局代表 佐田正之・県医  
療法人協会代表理事)が18  
日、調達した物資の一部を  
県産婦人科医会に寄贈した  
写真。福岡市乳児院児童  
養護施設協議会にもマスク  
約1万枚を贈る。

事業は、中国でも不動産



コンサルティング業を営む  
「CCD JAPAN」(福  
岡市)の藤賢一社長と佐田  
代表(佐田病院理事長)が  
中心となって企画した。同

医療法人協会やJR九州、  
西日本鉄道、西日本新聞社  
など福岡市に拠点を置く12  
社・団体が共同で、各自向  
けの対策物資を緊急輸入。  
その中から、医療用マスク  
2665枚やフェイスシー  
ルド1440枚、防護服2  
15枚などを寄贈した。

贈呈式で佐田代表は「メ  
ンバーの好意を有効に活用  
してほしい」とあいさつ。  
県産婦人科医会の平川俊夫  
会長は「妊婦に長時間寄り  
添う産婦人科では特に防護  
服が不足しており、助かり  
ます」と謝意を述べた。

(久永健志)